

令和3年度事業計画書

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言発動などで、3密によりイベントの中止や縮小を余儀なくされた。令和3年度についても引き続きコロナ禍での対応をおこない社会情勢を踏まえながら事業を実施する。

1. 目的

観光地としての高尾山の魅力を未来へ継承するという、高尾山応援基金の目的を具現化するための事業として、これまで高尾山応援基金運営協議会で検討した活動支援事業・参加型事業・課題解決事業の3本を柱に事業を行う。

2. 事業

(1) 活動支援事業

高尾山の魅力を高める活動を行う団体に対して、活動費の助成を行う。活動を支援することを通じて、高尾山の魅力を高め、さらに活性化させるとともに、次世代につながる担い手となる活動団体を育成する。

予 算 額 団体 3 件 10 万円(上限)

(2) 課題解決事業

高尾山の魅力を高めるために課題解決を行うためのプロジェクトを行う。平成 29 年度のイベントでのアンケート・聞き取り調査を踏まえて、外国人、子育て層などに対して、高尾山を楽しむために必要な情報の発信を行う。

① 情報発信事業

(ア) 日本遺産アプリ統合による高尾山の情報発信

事業内容 日本遺産アプリを利用した情報発信を継続する。提供する情報の中で「ごみの持ち帰り」をはじめとした高尾山ルールの周知等を行う。

開始時期 8 月 8 日(月)(山の日)予定

予 算 額 無料(日本遺産アプリを活用)

協力団体 (株)夢現舎、日本遺産推進協議会

(イ) むささびハウス設置のデジタルサイネージを活用して高尾山応援基金の PR や高尾山に関する情報発信を行う。

② ゴミ袋活用事業

事業内容 昨年度製作したゴミ袋を、高尾山で行われる清掃活動のボランティアに対し提供する。

予 算 額 3 万円(ゴミ袋活用の PR チラシ・ポスター制作費)

(3) 参加型事業

高尾山の魅力を多くの人たちに伝えることを通じて、さらに高尾山の魅力を高める活動に関わる担い手の創出を目的とした参加型イベント等を開催する。

①マイ箸づくり

事業内容 高尾山を訪れた小学生を対象に、多摩産材を用いた箸作り体験教室を行い、木工体験を通して、自然に親しみ、高尾山の自然に対して興味を持ってもらう。

実施時期 8月8日(日・祝)(山の日)予定

予算額 3万円(30年度実績)

②浅川地域ポスターコンクール

事業内容 浅川地域の小学校・中学校及び地域の在住の小学生・中学生対象にポスターコンクールを実施し、高尾山の魅力を作品にしてもらう。

実施時期 夏休み期間

予算額 30万円

3. PR・募金活動

(1)啓発・募金事業

①若葉まつり コロナ禍により中止

②山の日 8月8日(日・祝)(山の日)予定

③もみじまつり 11月6日(土)・7(日)予定

(2)常設募金箱設置

①高尾 599 ミュージアム

②ケーブルカー清滝駅

③むささびハウス

(3)寄付つき商品事業

商品購入額の一部が高尾山応援基金に募金される寄付つき商品は、現在、高尾 599 ミュージアムで販売されているデザイン手拭い・ステッカー各 3 種及びレジ袋であるが、商品の種類と参加団体を増やし、充実をはかる。

①高尾 599 ミュージアム

デザイン手拭い・ステッカー各 3 種及びレジ袋

4. その他

(1)事務局運営費

事務局運営費として、10 万円を計上する。

(2)ホームページ経費

基金に関する情報発信を目的に平成 30 年度 HP を開設した。令和 3 年度はホームページの経常経費として 1 万円を計上する。